

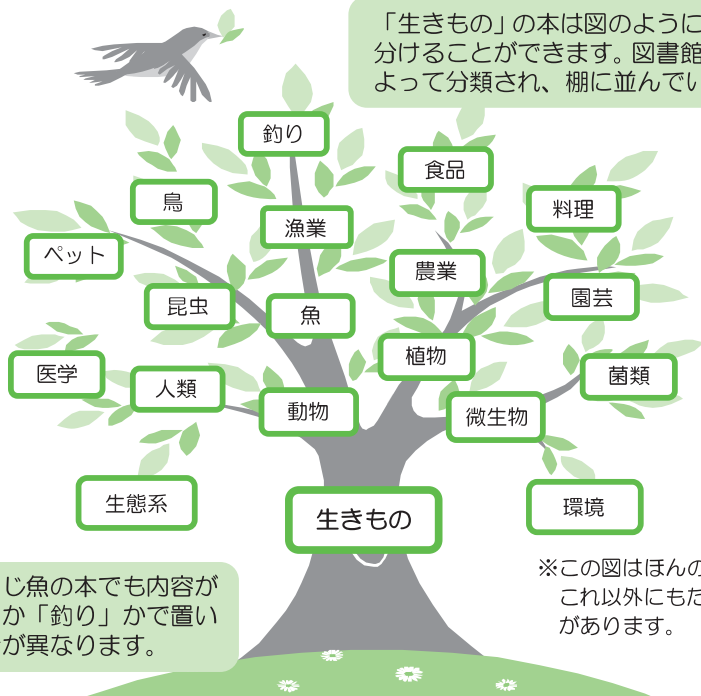
「生きもの」ってなに？

「生きもの」というと動物を連想しますが、広い意味では動物、植物、細菌、微生物など、自分たちの種を絶やさないように仲間を増やしていこうとするものを指します。

犬や猫、熱帯魚などのペット、家庭菜園やガーデニング、動物や植物の写生や写真など、生きものは私たちの生活に密接にかかわっています。図書館には、趣味から仕事まで使える生きものについての本がたくさんあります。

「生きもの」の本の分類

「生きもの」の本は図のように様々な分類に分けることができます。図書館の本は内容によって分類され、棚に並んでいます。



例えば、同じ魚の本でも内容が「ペット」か「釣り」かで置いてある場所が異なります。

※この図はほんの一例です。これ以外にもたくさん分類があります。

「生物多様性」について

2010年は国連が定めた「国際生物多様性年」です。「生物多様性」とは多くの種類の生物がいること、それによって生態系の豊かさやバランスが保たれていること、遺伝子の多様性が過去から現在、そして未来へとつながっていることです。これが衰退すると、すべての生物にとってなくてはならない生態系の機能が低下し、生物全体が衰退してしまいます。2010年10月に名古屋市で生物多様性についての国際会議 COP10 が開催されます。この機会に身近な生きものや自然を見つめ直してみませんか？

●豆知識●

COP10 とは？

COP(コップ)とは、締約国会議 (Conference of the Parties) の略で、国際条約に関する様々な事柄を決定するために、加盟国 (Parties) が集まる会議 (Conference) のことです。COP10 とは生物多様性条約の「第10回目の締約国会議」という意味です。